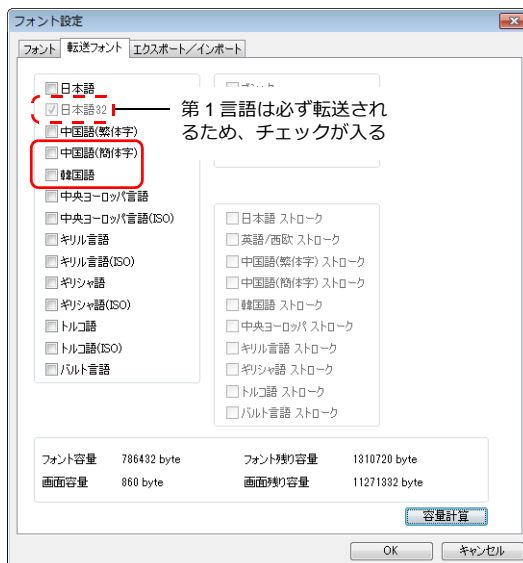


5. [転送フォント] タブで、フォントのチェックを外します。



以上で、設定完了です。

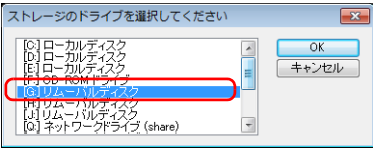
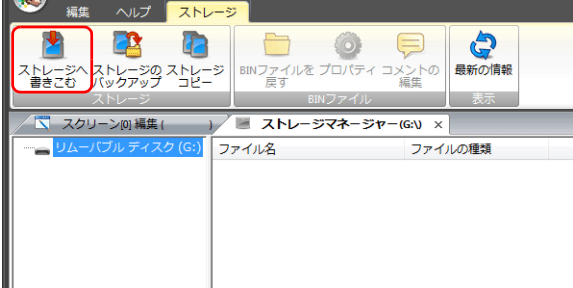
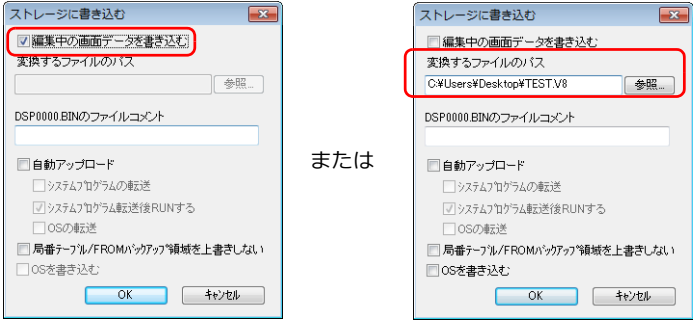

## ストレージへのフォントファイル書込

ストレージを使って多言語切替を行うためには、第2言語以降のフォントファイルをストレージに格納し、本体にそのストレージをセットする必要があります。

### 格納手順

第2言語以降のフォントの格納方法は以下のとおりです。

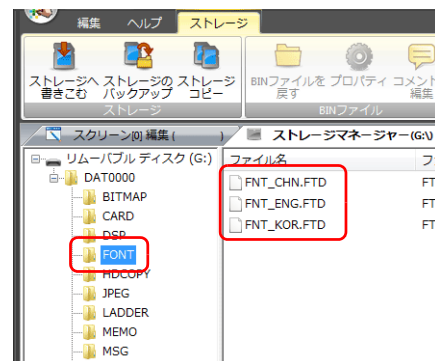
手順 1	画面データの [システム設定] → [その他] → [ストレージ設定] をクリックします。[ストレージ] ダイアログが表示されます。
手順 2	[アクセスフォルダ名] において、任意のフォルダ名を決めておきます。(半角大文字英数字 32 文字以内) このフォルダ名がフォントを格納するストレージ側で、どの TS2060i の画面データについてのフォントなのかを識別する役割を果たします。
手順 3	画面データを保存します。
手順 4	パソコンにストレージをセットします。

手順 5	<p>[ファイル] → [ストレージマネージャ] をクリックします。以下のようなダイアログが表示されます。現在ストレージを挿入しているドライブを指定して、[OK] をクリックします。</p> 
手順 6	<p>ストレージマネージャが表示されます。[ストレージ] → [ストレージへ書きこむ] をクリックします。</p>  <p>ストレージマネージャとは？          ストレージに TS2060i で使用するデータを書き込んだり、ストレージ内のデータを取り込んで各ファイル形式に変換するためのアプリケーションです。          詳しくは「<a href="#">5.4 ストレージマネージャ</a>」を参照。</p>
手順 7	<p>[ストレージに書き込む] ダイアログが表示されます。現在、編集中のデータであれば、[編集中のデータを書き込む] にチェックを付けておきます。編集中のデータとは異なる場合は、[編集中のデータを書き込む] のチェックを外した上で、[変換するファイルのパス] において、[参照] ボタンをクリックし、ストレージへ書き込む [*.*V8] ファイルを選択します。</p>  <p>または</p>
手順 8	<p>[OK] をクリックします。ストレージ内のアクセスフォルダ (デフォルト : DAT0000) の [FONT] フォルダに、フォントファイルが保存されます。</p> 

## フォントファイル名

ストレージ内のアクセスフォルダ（デフォルト：DAT0000）の [FONT] フォルダに、以下のフォントファイルが格納されます。

フォント	ファイル名
日本語	Fnt_jpn.ftd
日本語 32	Fnt_jpn2.ftd
英語 / 西欧	Fnt_eng.ftd
中国語（繁体字）	Fnt_twn.ftd
中国語（簡体字）	Fnt_chn.ftd
韓国語	Fnt_kor.ftd
中央ヨーロッパ言語	Fnt105.ftd
キリル言語	Fnt106.ftd
ギリシア語	Fnt107.ftd
トルコ語	Fnt109.ftd
バルト言語	Fnt110.ftd
ゴシック	Fnt006.ftd、Fnt0062.ftd
ゴシック（IBM 拡張）	Fnt012.ftd、Fnt0122.ftd
英語 / 西欧 ゴシック	Fnt008.ftd、Fnt0082.ftd
英語 / 西欧 明朝	Fnt009.ftd、Fnt0092.ftd
日本語ストローク	FNT020.FTD
英語 / 西欧ストローク	FNT021.FTD
中国語（繁体字）ストローク	FNT022.FTD
中国語（簡体字）ストローク	FNT023.FTD
韓国語ストローク	FNT024.FTD
中央ヨーロッパストローク	FNT025.FTD
キリル言語ストローク	FNT026.FTD
ギリシア語ストローク	FNT027.FTD
トルコ語ストローク	FNT028.FTD
バルト言語ストローク	FNT029.FTD



\* ストレージに格納されるのは  
【第 1 言語】以外のフォントです。

このストレージを多言語切替の画面データを転送した本体にセットすることで、多言語切替機能が有効になります。